

平成26年度 北毛地区小学校体育科授業研究会 レポート

- 日 時：11月27日(木)
- 会 場：みなかみ町立桃野小学校
- 単元名：ティーボール（ボール運動）
- 指導者：荒平 幹雄 教諭



冬の寒さを感じる中、天候の心配もありましたが、研究授業は無事に校庭で行うことができました。今回の研究会では「ティーボール」を取り上げ、その後の研究会では、活発な意見交換が行われました。



チームごとにしっかりと道具が用意されています。子供達はスムーズに活動することができました。ランニング後、それぞれの練習場所に分かれて準備体操。どのチームも入念に行っていました。



準備体操後はドリルゲーム。まずは「スロー&キャッチ」で投げる練習をしました。次に「ローテーションゲーム」で打撃の練習をしました。チーム内でバッティングティーの高さやバットの振り方をアドバイスし合う場面も。



タスクゲーム「4対4内野連係ゲーム」の動き方の確認です。打者・走者・1塁・2塁・遊撃手・3塁・(審判)の順でローテーションし、進塁を防ぐために“どこにボールを返すか”などの連係する動きを身に付けました。



最後はメインゲーム「4対4内野連係ゲーム」です。タスクゲームで身に付けた連係の動きを確かめながら、どのチームも主体的に考えて実践していました。片付け後は、各チームで反省や感想を話し合いました。



授業研究会では、6班に分かれての班別協議が行われました。「体育授業観察チェックリスト」をもとに、「教師の相互作用」「学習環境」「意欲的学習」「授業の勢い」「効果的学習」の主に5つの観点で話し合いを行いました。協議後に班の代表者が話し合った内容を発表し、全体で共有することができました。



班別協議の様子です。各協議班では、「場の工夫が児童の意欲につながっていた」「児童が主体的によく動いていた」「チームの作戦タイムを入れては」など、積極的な意見交換が行われていました。

全体発表後は、利根教育事務所の木樽一秀指導主事より、「動きを教えて重ねていくことで、動きが身につく運動量が確保できる」ことや「教師が体育授業プログラムを理解して児童に投げかけていく」ことなど、実践に向けたご指導を頂きました。また、群馬県教育委員会の橘憲市指導主事より「文科省の指導資料等も活用し、体育授業に対して具体的なイメージを持つことも大切である」というご指導も頂きました。

この度の公開授業及び研究会は、私たちのよりよい体育授業の実践につながる、大変貴重な機会となりました。授業を公開して下さった荒平先生をはじめ、研究会開催にご尽力頂いた皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責：孺恋村立東部小学校 高月 到)